



平成 22 年 2 月 12 日
株式会社シノケングループ
代表取締役社長 篠原 英明
(J A S D A Q ・ 8 9 0 9)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は本日発表の「平成 21 年 12 月期 決算短信」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

当社グループは、前連結会計年度において、金融危機や不動産市況の全般的な悪化の影響を受け、多額の損失を計上したこと等により、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当社グループは、平成21年5月14日開催の当社取締役会において決議した「経営改善計画」に基づき、新規顧客獲得及び顧客層の拡大、不動産ファンド事業からの撤退、販売費及び一般管理費等の固定費の削減等の経営改善策を実行し、グループを挙げて早期の業績回復を図っております。

当連結会計年度は、第2四半期までは損失を計上したものの、固定費の削減は計画どおりに推移し、第3四半期においては営業利益を計上しており、次年度以降の業績黒字転換に目処が立ちました。

また、平成21年7月31日付の第三者割当増資により600,000千円の資金調達にて財政基盤の強化を図るとともに、割当先であるN I S バリュースアップ・ファンド2号投資事業組合から役員を受入れ、経営基盤の強化も図りました。さらに、主力事業である不動産販売事業に係る受注においても回復傾向にあり、それらの仕入資金に関する金融機関の支援体制も確立できました。

依然として不動産市場は不透明な状況下にあります。事業資金の安定確保、低コスト構造の確立、受注・仕入体制の確立、経営陣の強化の実現により、当連結会計年度末において継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないとの判断から、当該注記を解消することといたしました。

今後におきましては、株主はじめステークホルダーの皆様のご期待に添えるべく、グループ一丸となり、業績の向上ならびに企業価値の増大に努めてまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上